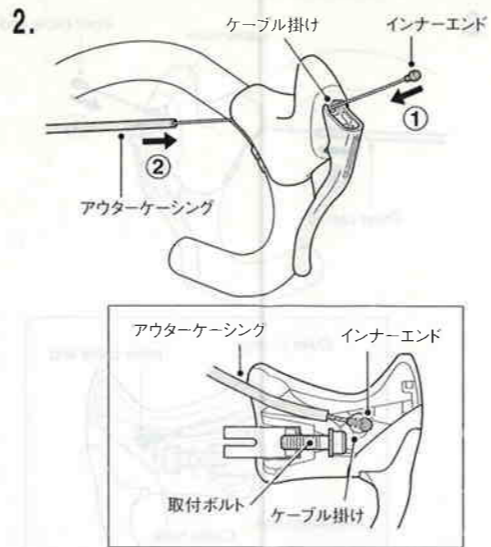
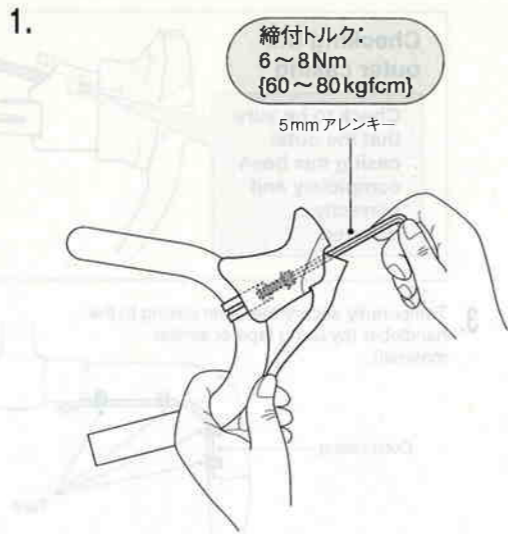


警告

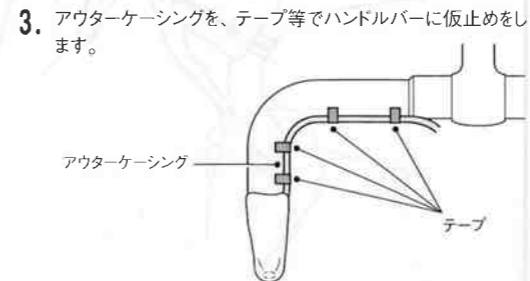
- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキシステムの操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また、自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- キャリパーブレーキの取付ナットは、指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。
 - ナットタイプのブレーキには、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。
 - 沈頭ナットタイプのブレーキには、ナットが6回転以上かみ合う適切な長さの沈頭ナットを使用し、再組立てのときには、ネジ部に封着剤（緩み止め接着剤）を使用してください。
 取付ナットが緩んでブレーキが外れると、車輪にかみ込んで転倒することがあります。特に前車輪の場合は、突然前方に放り出されて大怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると突然転倒する場合があります。

ブレーキレバーの取付け



アウターケーシングの確認

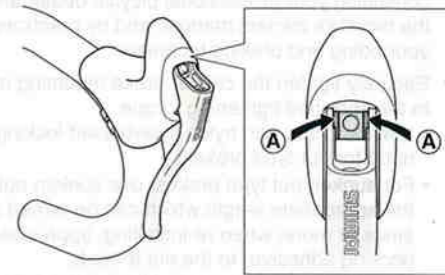
アウターがきちんと入っていることを確認してください。



4. 続いて、バーテープをハンドルバーに巻きつけます。

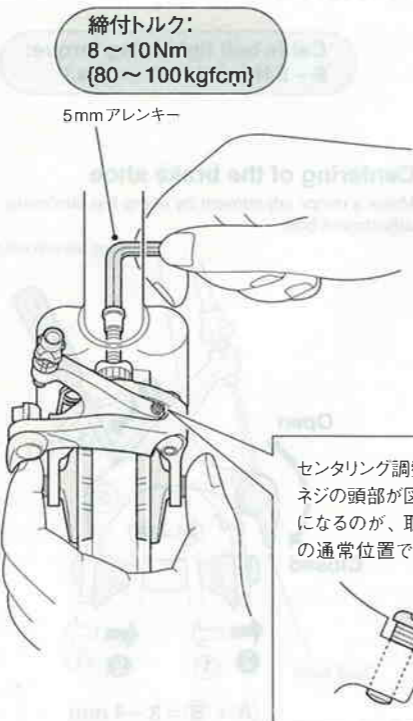
ご注意:

- ケーブルはハンドルを左右一杯切っても余裕のある長さでご使用ください。
- 長時間使用后、万一キシミ等が発生した場合は(A)の部分に注油してください。

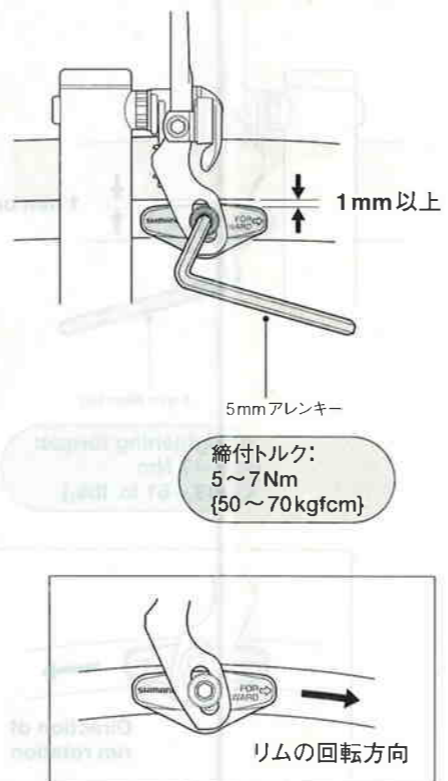


ブレーキの取付け

1. ブレーキ本体の取付け
アーチを握り、シューを強くリムに当てた状態でセットしてください。



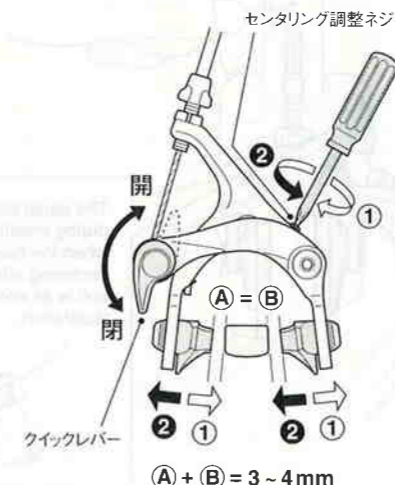
2. ブレーキシューのセット位置



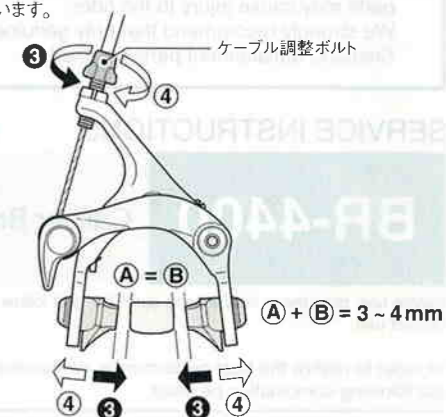
3. ケーブルの固定
クイックレバーを“閉”の状態にして、シュークリアランスを下図のように調整し、ケーブルを固定します。

ケーブル固定ボルト締付トルク:
6~8Nm {60~80kgfcm}

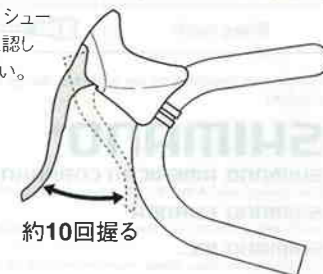
4. ブレーキシューのセンタリング
センタリング調整ネジで微調整を行いません。



5. シュークリアランスの再調整
ケーブル調整ボルトを回し、シュークリアランスの再調整を行います。



6. 確認
ブレーキレバーをグリップにつくまで約10回ほど握り、各部に異常がないことと、シュークリアランスを再確認してからご使用ください。



取扱い説明書

SI-8BY0A

BR-4400

キャリパーブレーキ

ご使用になる前に、この取扱い説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

機能を十分に発揮させるために次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	TIAGRA
ブレーキレバー	ST-4400 / BL-R400
キャリパーブレーキ	BR-4400
ブレーキケーブル	



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

この取扱い説明書は再生紙を使用しています。

お客様相談窓口
☎(0722)43-2829

株式会社 シマノ
大阪府堺市東区野町3-7-7